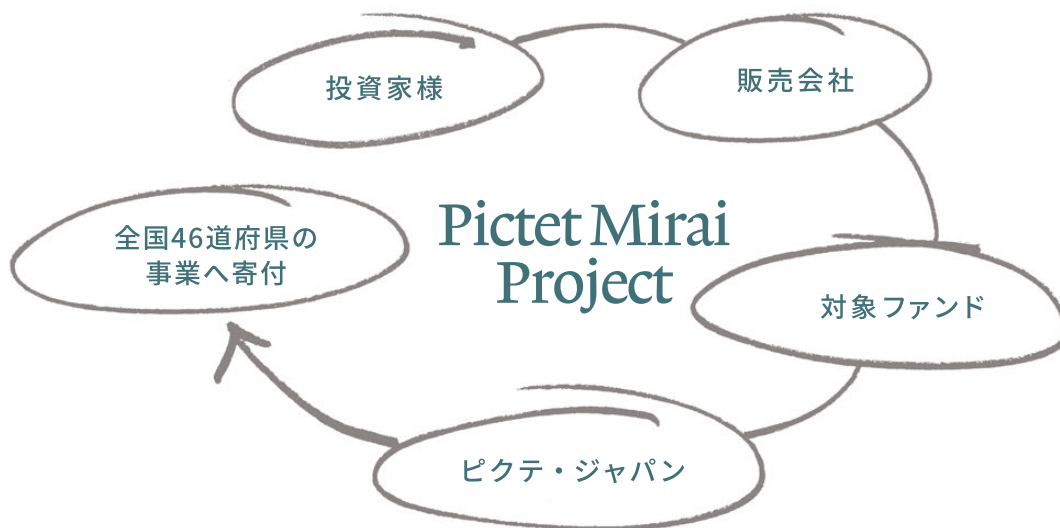


地域社会とつながる ピクテ・ミライ・プロジェクト

210余年の歴史を持つピクテ・グループは、
経営理念の中核にある「サステナビリティ」のもと、
さまざまな形で地域社会への還元に努めて参りました。

ピクテ・ミライ・プロジェクトは寄付を通じて日本の地域社会に還元し、
日本のサステナブルな未来に貢献する取り組みです。
ピクテ・ジャパンが受取る収益（信託報酬）の一部を、
対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて配分し、
46道府県^注の地域再生計画に基づく事業に寄付します。



当プロジェクトの
主な寄付のテーマ



注：ピクテ・ジャパン（以下、当社）の本社所在地である東京都を除く46道府県 ※原則として、当社が受取る収益（信託報酬）の一部を、各金融機関における対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて、当該金融機関の本社所在地（道府県）に寄付します。また、本社所在地が東京都の金融機関における上記取扱い純資産総額に応じた分は、46道府県に均等配分し寄付します。2024年は約6,130万円の寄付を行います。※状況等により、上記の方針通りに寄付が行われない場合もあります。※2024年9月時点。将来見直しを行う可能性があります。

2024年度
寄付先事業例
長野県

流域治水推進事業（雨水貯留タンク設置）

令和元年の東日本台風、令和2年7月の豪雨を教訓に策定された流域治水推進計画に基づき、令和3年より5年間で、雨水貯留施設の設置や浸水想定区域図作成などを推進する。このうち雨水貯留タンク設置事業では、「流域治水」の考えの下、道の駅や野球場などの人が集まる目立つ場所にタンクを設置し、国・県だけでなく流域住民が一体となった幅広い取り組みに向けた普及啓発活動を行う。

寄付先事業例のイメージ



安曇野町舎の設置事例



普及啓発活動（シンポジウム開催）



河川改修工事後

※上記はあくまでも寄付先事業例のイメージであり、実際とは異なる場合があります。

皆様の温かいご支援のおかげで、対象ファンドの金融機関における販売のお取扱いは全国各地に広がりました。

その結果、全国46道府県への寄付が実現可能となりましたことを心より御礼申し上げます。今後も長きにわたって共に歩んできたネットワークを通じて、地域の皆様にファンド等を通じた、持続可能な社会に向けての取組みを継続してまいります。

対象ファンド等の詳細は、こちらをご覧ください。

